

夕キ夕キスプラザ

病児保育だより 107



6月発信

紫陽花がきれいな6月Eの週末です。

5月の病児室も先月に引き続き高熱の病児が多く入室されました。今月は病児保育室について少しお話をしたいと思います。

仕事をしている保護者様ばかり 安心して一日すごせる様、場々大人
(保育士と看護師)ばかり おめずかりです。

お薬は、かかりつけの医師のお薬を持参していただきます。緊急時の保護者の要望があれば、鹿田医療分院で対応はさせていただきます。入院施設ではないことをご承知いただきたいと思います。

病児をお預りしなくてもその日のうちに回復するということではありません。夕キ夕キスプラザでは、

医療機関併設の病児保育室のため回復期のお子さんだけでなく急性期のお子さんもお預りします。(一般的には回復期のお子さんにお預りしません)

今もお預りした病児は急性期のお子さんかお教いらせました



女医先生のお話



常滑に病児保育室を造りまして、もうじき2年を迎えます。初めは、聞き慣れない言葉で、近所や近頃どの方が知りませんでした。テレビで放映されたりして、皆理解いただけるまで、田舎といふ地方の常滑が、画期的なことを始めたのです。全国の会にも行くことも、自信をもって安全面も、P.Rできます。スタッフは一流、設備は、日本1~2位。育児に困ったら、一度、見学にいらいして下さい。病気の時でも、子供は、一人で「ポツン」としてはいけません。不安な心の時、安心感を持って過ごすことができるのは、良いことだと、思います。

